

平成25年度施策評価シート(平成24年度実施事業)

作成主管課	建設課
	都市計画課
関係課	

施策名	幹線道路	施策コード	1-2-1
-----	------	-------	-------

総合計画後期基本計画の内容

政策体系	政策	第1章 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり[土地利用・都市基盤]
	小政策	2 多様な交流・連携を支えるネットワークを形成します
現況と課題	<p>本市は、東西方向に北関東自動車道、国道50号、南北方向に常磐自動車道、国道355号が通り、また、主要地方道などが連絡する広域交通の要衝となっています。これまでに、国道355号や主要地方道の一部区間の開通など、広域交通体系の整備促進が図られ、また、合併前の旧市町の一体化を促進する幹線道路も、合併に伴う財政支援策の活用により計画的な整備を進めてきました。特に、平成23年3月に北関東自動車道が全線開通したことにより、茨城港・茨城空港といった県内の主要施設と栃木・群馬方面との交通網が整備され、東京、東北方面を含めた「陸」「海」「空」をつなぐ交通の要衝としての機能が強化されました。この交通の要衝となる地理的優位性を、本市の成長につなげていくことが求められます。</p> <p>今後とも、この優位性を十分に生かし、居住環境の魅力や産業の活力を高めていくために、広域交通体系と適切に連絡する幹線道路の整備促進を図り、活力ある住みよいまちを目指す必要があります。</p> <p>また、市民生活の安全や利便性を確保するため、バリアフリー新法(高齢者・障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律)に基づくバリアフリー基本構想の策定について、検討を進める必要があります。</p>	
施策目標	<p>活力ある住みよいまちづくりを目指し、市内外の交流を促進する道路網の構築に向けて、円滑な都市交通を形成する幹線道路の整備促進を図ります。</p>	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	事業の早期完成を求める意見や要望が数多くある。
-------------	-------------------------

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
市街地間の移動が向上していると感じている市民の割合	市民実感度	67.370	61.120				
	加重平均値	2.812	2.726				
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		82.890				
	加重平均値		3.362				

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
幹線道路の整備率(改良率)	目標値	%		75.30	75.50	75.50	75.60	78.20
	実績値	%	76.60	76.60				
	達成度	%		101.73				
	ベンチマーク							
都市計画道路整備率	目標値	%		63.00	64.00	65.50	65.50	67.00
	実績値	%	63.00	63.00				
	達成度	%		100.00				
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							

数値指標の考え方	指標設定の考え方	広域交通体系と適切に連絡する幹線道路は、「整備率」で把握する。
	目標値設定の考え方	道路整備の予算状況を考慮し、施工延長から設定した。

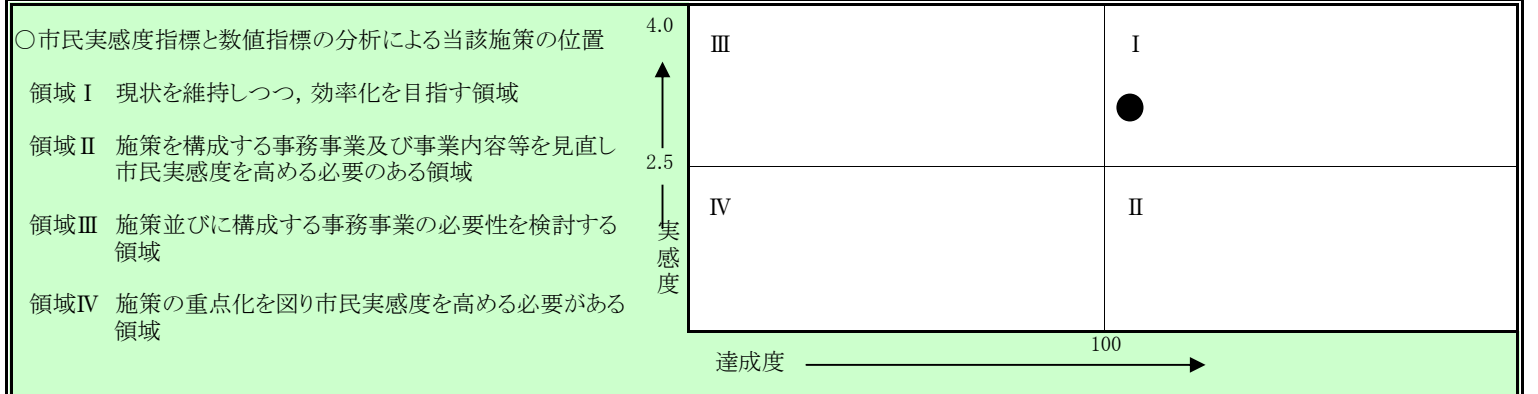
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 供用開始後の除草作業やごみ拾いなどの維持管理に関すること。
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 各事業の早期完成と、道路網の構築による交通利便性の向上を目指す。工事費等の経費節減や工事期間短縮を図るとともに、施設の長寿命化を検討する。

3 平成24年度の取組状況

取組状況等	取組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。 各路線とも、地元説明会等を行い事業の用地取得が進み、2路線の道路改良工事を行い延長約425mが完了するなど成果が得られた。
-------	--

4 施策の評価(現状分析)



達成度評価	指標を分析した結果施策目標は達成されたのか 本年度は、国費の採択も約90%であり、各事業が進んだため目標が達成された。
-------	--

構成事務事業の適正性	施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か 施策を構成する事務事業は、目標に直接働きかけをしていることから、構成としては適正である。
------------	---

残された課題	平成25年度以降に残る課題、その要因として考えられること。 事業用地で、未買収になっている箇所の取得が課題となっている。特に、地権者が死亡し相続手続きが済んでいない案件の取得。また、バリアフリーの整備促進については、道路改良工事と併せて実施した方が経費の削減が可能のため、事業が遅れている。
--------	--

5 今後の方向性

取組方針	平成26年度に向けた施策方針 事業の懸案となっている未買収取得のため、関係者と積極的に交渉を継続する。バリアフリーの整備促進については、整備を優先する箇所の特定を行い、国補事業を活用しながらコストの削減に取り組む。幹線道路を整備することにより、交通混雑の解消や沿道地区の開発が進められること。また、災害時の避難路としても利用できることから、今後も積極的に整備に取り組む。
------	--

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			貢献度評価	
			成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度		
1	国県事業の調整・促進事務	市内を通る国道や県道、河川の整備、充実を早期に図るため、国や県と連携を密にし、事業の調整促進を図る。	政策的事業	要望達成数	箇所	14	14	13	市単	706	628	452	2
2	社会資本整備総合交付金事業(都)上町大沢線	北関東自動車道友部ICと友部地区市街地を連絡する都市計画道路であり、地区内の交通混雑緩和と地域間の連絡強化を図る道路整備事業	建設・整備事業	整備進捗率	%	40	64	84	国県補助	28,551	84,438	118,124	1
3	幹線道路整備事業 来栖本戸線	国道50号の渋滞緩和を図り、併せて北関東自動車道へのアクセスを強化し、地域の東西軸の形成を図る幹線道路の整備事業	建設・整備事業	整備進捗率	%	14	20	33	国県補助	89,329	78,961	153,866	2
4	合併市町村幹線道路緊急支援事業 南友部平町線	本路線は、笠間地区と友部地区とを結ぶ幹線道路として計画し、合併支援道路の認定を受けた路線。	建設・整備事業	整備進捗率	%	30	39	39	国補助	237,398	157,780	13,780	4
5	幹線道路整備事業 笠間小原線	笠間地区とJR友部駅を結ぶ重要な幹線道路の整備事業。	建設・整備事業	整備進捗率	%	6	18	38	国補助	23,540	90,323	148,631	2
6	社会資本整備総合交付金事業(友)1級5号線	本路線は、友部地区市街地から国道50号を結び、JR友部駅や県立中央病院へのアクセス向上を図るための幹線道路として整備を行う。	建設・整備事業	整備進捗率	%	38	45	46	国補助	39,745	33,687	45,796	2
7	社会資本整備総合交付金事業(友)2級6号線	友部地区市街地と南東部の住宅地を結ぶ幹線道路として計画し、交通混雑緩和と地域間の連絡強化を図る。	建設・整備事業	整備進捗率	%	30	63	89	国補助	41,526	45,179	36,176	4
8	都市計画道路再検討事業	都市計画決定後、整備未了となっている都市計画道路について、計画の必要性、事業の支障となる要因等を評価し、計画の継続、変更、廃止の方向性を判断し、それに基づいた都市計画の変更等の手続きを行う。	計画策定事務	見直し対象路線数	路線	—	10	21	国補助	—	2,562	10,597	3
9	社会資本整備総合交付金事業 岩間駅東大通り線(延伸部)	本事業は、都市計画道路日吉町古市線との交差点部付近から国道355号バイパスまでを延伸整備し、アクセス性の向上を図り、都市の健全な発展に寄与する。 L=680m、w=6.0/20.0m、C=830,000千円	建設・整備事業	工事進捗率	%	0	0	0	国補助	13,440	66,614	189,425	1
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
事業費合計									474,235	560,172	716,847		

シート1 施策構成事務事業目的直結度評価

施策名 幹線道路



法定受託事務(義務的事業に分類)

